

市の文化振興に大きく貢献

平成25年度秋田市文化章

平成25年度の秋田市文化章の受章者が決まりました。市文化章は芸術・学術、産業・経済、教育・スポーツなどの各分野で市の文化振興に大きく貢献されたかたに贈られます。

表彰式は11月1日(金)午後4時から秋田キャスルホテルで行います。文化振興室 ☎(866)2246

文芸(俳句)



かとう りゅうじ
加藤 隆二さん
(86歳・手形)

長年にわたり俳句の創作・指導に携わり、各種大会・コンクールの選者や秋田カールチャースクールの講師として、後進の指導育成に尽力されています。
また、秋田市俳句人連盟副会長などの役職を歴任し、「秋田市竿燈まつり協賛・野外俳句会」の創設にも貢献されました。大会は全県的な規模に成長するなど、俳句文化の振興に大きな功績をあげられています。

文芸(現代詩)



やまがた かずよし
山形 一至さん
(78歳・将軍野)

長年にわたり優れた詩人として活躍されています。平成21年からは秋田県現代詩人協会の会長として組織運営に努めているほか、さががけ詩壇の選者などを務め、秋田県詩界の発展に貢献されています。
今年開催された日本詩人クラブ秋田大会では実行委員長を務め、来年の国民文化祭の現代詩部門の実行委員としても精力的に活動されています。

工芸(押絵・人形)



いがらし きよこ
五十嵐 貴世衣さん
(本名 五十嵐清子)
(84歳・旭北)

昭和36年に日本人形作家協会に入会し、本部講師・評議員を務め、協会創作展では数々の賞を受賞されています。また、押絵・人形教室を開設され50年以上にわたり後進の指導・育成に努められています。
日本人形作家協会秋田分会、秋田押絵作家協会を設立し、会長として幅広い年代への文化活動を推進し、市民文化の振興に功績をあげられています。

社会文化



みうら ひろき
三浦 廣巳さん
(62歳・千秋)

秋田商工会議所の議員を長年に渡って務め、地域商工業の発展に寄与するとともに、秋田港の活性化と国際化の推進にも尽力されています。
また、秋田ノーザンブレッツの設立に尽力し、初代会長に就任したほか、秋田ワールドゲームズ2001では組織委員会事務総長を務め陣頭指揮を執るなど、スポーツの振興にも功績をあげられています。

学術



はまだ ふみお
濱田 文男さん
(64歳・旭川)

日本素材物性学会会長として学会の発展に寄与し、特に国際会議を秋田市で開催するなど、世界に向けた情報発信と地域活性化、学会を足場とした国際交流に功績をあげられています。
秋田大学地域共同研究センター長、秋田大学産学連携推進機構長を務め、研究成果の社会への還元にも尽力されています。

*素材物性学＝素材の持つ特性を改めて研究し、新たな工学的活用を研究すること。

工事内容を見直し、平成28年3月の完成をめざします



市役所新庁舎は、「市民生活を守る防災拠点としての庁舎」「市民に親しまれ、市民サービスの向上を実現する庁舎」「環境共生に取り組む、地球にやさしい庁舎」などを基本方針とし、市民や市議会からご意見を伺いながら建設事業を進めてきました。

しかし、見積価格が折り合わないなどの理由で、入札が2度中止になったことを受け、企業からの意見聴取などを行い、事業費と工事内容を次のとおり見直しました。新庁舎完成は、平成28年3月の予定。市民のみなさまのご理解をお願いいたします。新庁舎建設室☎(866)8915

事業費の見直し

新庁舎本体と関連工事について、材料費や労務費を今年度単価に置き換えて費用を算出し、さらに、当初予定していた施設機能などにできるだけ影響が出ないように事業費を見直しました。

本体工事は、仕様などを変え約4億円を縮減。単価の引き上げで増額となった額からこれを差し引いた結果、当初と比べ約13億円の増額になりました。この分は、本体工事以外の見直しで縮減を図り、市議会から承認を得ている当初予算の約126億円まで事業費を圧縮しています。

工事内容のおもな見直し

(金額はいずれも概算です)

①新庁舎本体工事 面積や免震装置などの構造は変更せずに、当初計画の機能を維持しながら仕様などを見直しました：当初96億円▼見直し後109億円(13億円増)

縮減項目▼造作家具の仕様、金物工事、昇降機設備の仕様、正庁西側の太陽光発電パネル、照明器具の仕様、屋外電気設備材料の仕様など

②本体関連工事 木質内外装、映像音響電気設備、無停電電源装置電気設備などの仕様を見直すとともに、本体工事として一括発注します：当初11億円▼見直し後7億円(4億円減)

③分館などの改修工事 分館の改修を耐震補強などの必要最小限にとどめ、書庫などとして利用します。また、研修

棟の改修工事を取りやめます：当初3億円▼見直し後1億円(2億円減)

④外構工事 駐車場通路屋根の仕様と、植栽・職員駐輪場を見直します。また、配電盤の一部を取りやめます：当初4億円▼見直し後3億円(1億円減)

⑤解体工事 現本庁舎の地下駐車場としての改修と、山王別館解体工事を取りやめます。また、本庁舎、議場棟、福祉棟の解体工事を一括発注します：当初9億円▼見直し後4億円(5億円減)

⑥その他(監理費、負担金など)：当初3億円▼見直し後2億円(1億円減)

工事発注、入札の方針

①3回目の入札にあたり、平成25年度の「秋田県営繕工事標準単価表」と最新の刊行物単価を採用しました

②業者から参考となる見積書を徴取し、再公告時から材料費で4%、労務費で10%の上昇を見込んで工事費を設定

③新庁舎本体工事は、総合評価落札方式(※)による公募型指名競争入札で実施。入札では、コスト縮減に関する評価項目を追加するとともに、地元経済貢献に関する項目を設定し、市内企業の参加に配慮します。また、参加要件は共同企業体に加え、単体企業での参加も可能とします

※工事発注にあたり、競争参加者に技術提案などを求め、価格以外にその能力を審査・評価し、契約の相手を決定する方式。



一般廃棄物最終処分場跡地に建設



完成記念式典で。中央が穂積市長

メガソーラーが完成 環境にやさしい 自然エネルギーで発電

10月1日、河辺豊成の総合環境センター敷地内に秋田市メガソーラー発電所(大規模太陽光発電施設)が完成し、記念式典が行われました。

発電所は、約4.6ヘクタールに9千170枚のパネルを設置。年間182万キロワット時(一般家庭約520世帯1年分の電気量)を発電し、それを東北電力に売電する仕組みです。売電年額は約7千600万円を見込んでいます。また、発電は太陽光を活用することで、年間780トンの二酸化炭素削減にもつながります。

毎日の発電量は左のホームページで確認することができます。施設の見学も受け付けていますので、詳しくはお問い合わせください。

環境総務課☎(863)6862
<http://www.jfe-solarpower.jp/sites/at/>